

カンボジア古典舞踊 9月公演のご案内

～カンボジアからユヴァンナー先生を初めてお招きして、
山中ひとみ&ユヴァンナー ～



撮影：Dena Langlois

ユネスコ世界無形文化遺産に指定されたカンボジア古典舞踊を鑑賞しつつ、カンボジア史激動の時代を、踊りへの愛と素朴な宗教心を支えに、志高く生き抜いてきたユヴァンナー先生のお人柄に触れ、カンボジアの国や舞踊に親しんでみませんか。

*各公演では、貴重なピダン（カンボジアの寺院用の緋）も展示されます。

9月23日（土） 14：00～17：00

カンボジア古典舞踊と特別講演

～戦火をくぐって守り伝えられたカンボジア古典舞踊～

主催：上智短期大学 会場：秦野市文化会館 小ホール

チケット代：1000円、学生 700円

9月26日（火） 18：00～19：30

カンボジア古典舞踊と特別講演

主催：上智大学アジア人材養成研究センター 会場：上智大学10号館講堂

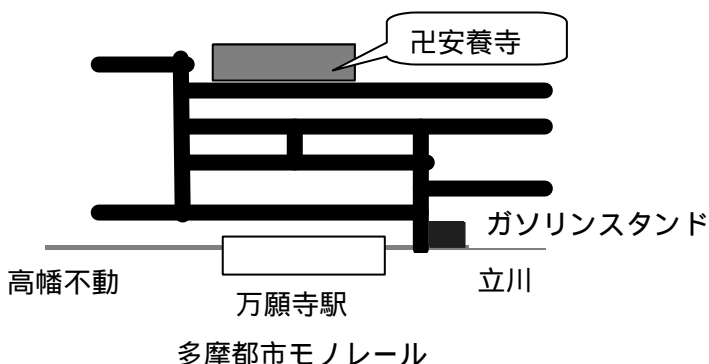
チケット代：無料

9月30日（土） 15：00～17：30

カンボジア古典舞踊奉納公演

会場：安養寺（東京都日野市）

入場料：お気持ちだけお願いします。



カンボジア古典舞踊について

インドのヒンドゥー文化の影響と「精霊・自然崇拜」をもとにした土地の文化が結び付き、9世紀アンコール王朝の時代にカンボジア独自の文化が誕生しました。神と王家を崇める宗教儀礼において、舞踊は音楽とともに重要な位置を占めていました。主要なモチーフは、アンコール・ワットの壁に彫られた天女アプサラやラーマーヤナ物語です。

< 出演者のプロフィール >

オム・ユヴァンナー (Mrs.Yu vanna)

カンボジア王立プノンペン芸術大学附属芸術学校古典舞踊科教授。

1950年、カンボジア独立の年に宮廷舞踊の踊り手の娘として生まれ、幼少期から宮廷舞踊を習う。60年代にシアヌーク国王により宮廷舞踊が一般に開放され古典舞踊と名称を変更後、アプサラ（天女）やソバンマチャー（人魚姫）役など古典舞踊の踊り手として活躍する。ポルポト時代（1975～1979年）は強制労働に従事し、生き残った数少ない古典舞踊関係者の一人として、1980年よりカンボジア文化省芸能局に所属し、国内外の舞台を務める。1999年に第一線を退き、芸術学校で後進の育成に励んでいる。

山中 ひとみ

カンボジア古典舞踊家。

1985年お茶の水女子大学哲学科美学美術史卒業。福祉職などを経、93～95年にタイ王立チェンマイ舞台芸術学校で聴講生として過ごす。97年からカンボジア王立プノンペン芸術大学附属芸術学校古典舞踊科5年過程にて学び、2003年日本人として初めて同校卒業。文化芸術大臣（当時）のポッパー・デヴィ王女より古典舞踊を教える許可を得る。奉納舞踊をライフワークとする一方、愛・地球博カンボジア館閉幕式などの舞台を務め、ワークショップ、講演なども行なっている。

< お問い合わせ先 >

山中 ひとみ

電話 & FAX ; 0467 - 25 - 5782

E-mail; sakanainthesky21c@yahoo.co.jp